

平成29年度 青果物輸出販売促進報告書

平成30年2月8日

農林水産省
生産局長 殿

全国農業協同組合連合会
輸出対策部
全農インタナショナル
米穀・園芸部

平成29年度青果物輸出販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : EU(イギリス)
実施期間 : 平成30年 2月3日～2月4日
(フェアに係る出張 : 平成30年 2月2日～2月6日)



「TKトレーディングJA全農フェア」

1. 『TKトレーディングJA全農フェア』について

(1)期間 :平成30年2月3日(土)～2月4日(日)

(2)場所 :イギリス ロンドン TKトレーディング 特設会場

(3)出席者 :TKトレーディング 本田担当
全農 輸出対策部 遠藤

(4)内容 :

今回は、今年度最後のロンドン全農フェアとなる。実施店舗は全農の米を周年供給している店のため、全農の知名度による集客を期待していた。しかし、あいにく悪天候(土曜日は雨、日曜日はみぞれ)のため、客足が鈍っていた。

販売青果物は九州から青森まで8県にわたり、オールジャパンを意識しての品目選定であった。

現地販売会社は輸入した青果物を使った弁当販売も実施しており、食べ方を合わせたの宣伝活動であった。

また、全農のロンドン日本料理店は入荷したレンコンを購入し割烹料理メニューに取り入れてくれた。食味についてシェフより高い評価と輸出単価の引き下げ要望を受け、今後の改善課題とする。

(5)販売青果物(野菜・果実)

品目詳細は、表①を参照

(6)出荷日程

1月30日 羽田空港→ロンドン 航空便

2月2日 TKトレーディング直営店に到着

(7)着荷状況

大葉は若干の痛みがみられた(画像参照)以外、良好だった。



表① 青果物(野菜・果実)

| 番号 | 商品名 | 産地 | ケース | 数量 |
|----|-------------|-----|------|----|
| | | | 重量kg | |
| 1 | みずな | 茨城 | 2.5 | 2 |
| 2 | にら | 栃木 | 2 | 2 |
| 3 | 蓮根 | 茨城 | 4 | 1 |
| 4 | 春菊 | 栃木 | 3 | 1 |
| 5 | 小松菜 | 茨城 | 2.5 | 2 |
| 6 | きゅうり | 宮崎 | 5 | 1 |
| 7 | ごぼう | 宮崎 | 2 | 1 |
| 8 | 長ネギ | 千葉 | 5 | 1 |
| 9 | さつまいも(鳴門金時) | 徳島 | 5 | 2 |
| 10 | ながいも | 青森 | 10 | 6 |
| 11 | かぼちゃ | 鹿児島 | 10 | 1 |
| 12 | りんご(サンフジ) | 青森 | 10 | 2 |
| 13 | りんご(王林) | 青森 | 10 | 2 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

2. TKトレーディング特設会場での「JA全農フェア」画像報告



フェア会場入り口で全農フェアを分かるよう大きな横断幕とのぼりで案内。会場内日本青果物輸出協議会の販促資材で売り場作り。価格が一目わかるよう商品にプライスを貼付のほか、壁に価格表を掲示している。



プロモーターによる商品説明。



購入者に抽選による景品渡しにより、買い物の楽しみを増やす。



商品を使ったお弁当販売





輸入会社との商談、販売契約書の確認。

3. 今後の進め方

- 今年度3回にわたるEU内全農フェアはすべて完了しており、全農側と輸入社側とも一定の評価をしている。
- 一方、イギリスポンド安により販売に影響が出ている。日本産農産物を現地消費者に定着させるため、新たな販売方法を加えることを検討する必要がある。
- 案として来年度の全農フェア会場についてTKトレーディング店舗内特別会場以外に卸売市場などで別会場を設け、同時開催することを検討する。

以上